

緩和医療学科

氏名	所属	職名	取得学位	専門分野	主な論文・著作・業績
木村 祐輔	緩和医療学科	特任教授	博士（医学）	緩和ケア、 外科学、消 化器外科学	<p>①Kimura Y, Yaegashi Y, Sato N, Tumor necrosis factor-α production after esophageal cancer surgery: differences in the response to lipopolysaccharide stimulation among whole blood, pleural effusion cells, and bronchoalveolar lavage fluid cells. Surg Today. 1999;29(1):10-5.</p> <p>②Kimura Y, Akira S, et al. Thoracoscopic Enucleation of Esophageal Benign Tumors. Minimally Invasive Foregut Surgery for Malignancy. p177-181.</p> <p>③木村祐輔、鎮痛薬の特徴と選択・使用上の注意点と看護の役割. Oncology NURSE 8(6)p63-651. 2015年.</p> <p>④木村祐輔、柏葉匡寛、伊藤薫樹、杉山 徹ほか 岩手医科大学附属病院「がん患者・家族サロン」. が んサバイバーを支える緩和ケアデイケア・サロン p107-111. 阿部まゆみ、安藤詳子編. 青梅社. 2015年.</p> <p>⑤木村祐輔、青木優子. 【外科医が知っておきたい緩和ケア】 緩和ケアチーム. 消化器外科. 38(13)p1777 ~ 1783, 2015年.</p> <p>⑥木村祐輔他、岩手医科大学附属病院「がん患者・家族サロン」日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団編. ホスピス緩和ケア白書2016, p30-32. 青海社, 2016. 4.</p> <p>⑦木村祐輔. 緩和ケア その歴史と新しい考え方. 岩手医学雑誌. 68 : 247-255, 2017.</p> <p>⑧文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C) (研究代表者:木村祐輔), 2010-2012年度「核内γH2AX発現 に基づく食道癌化学放射線療法の新たな感受性予測」</p>
青木 優子	緩和医療学科	助教		麻酔全般、 ペインクリ ニック	<p>①大淵優子、白塚秀之、福岡 直、小柳 覚、田邊 毅. 横隔膜部分切除術施行中の経皮的酸素 総和度低下時にHFJVが有用であった1症例. 日本臨床麻酔学会誌23(8)pS300. 2003年.</p> <p>②大淵優子、日高康治、柳川慎平、門田和気、土田英昭、川上重彦. 口蓋裂手術患児に認めた口 腔内食物残渣. 麻酔 52(1) p76-77. 2003年</p> <p>③大淵優子、小柳 覚、白塚秀之. 小開胸肺部分切除術術後にARDSを発症した1症例. 麻酔 53(9) p1084. 2004年</p> <p>④青木優子、大畑光彦、鈴木 翼、星有己枝、田村雄一郎、宮田美智子、水間謙三、鈴木健二. 腰部硬膜外ブロック後に気脳症をきたした1症例. 第38回東北ペインクリニック学会. 2014年.</p> <p>⑤木村祐輔、青木優子. 【外科医が知っておきたい緩和ケア】 緩和ケアチーム. 消化器外科. 38(13)p1777 ~ 1783, 2015年</p> <p>⑥青木優子、鈴木翼、山田直人、宮田美智子、星有己枝、水間謙三、大畑光彦、鈴木健二. 断続 的電流治療器 (NORMALIZA) ががん性疼痛に有効であった2症例. 第40回東北ペインクリニック学 会. 2016年 ⑦青木優子. 痛み症状への漢方活用例. 女性医師のための漢方セミナー. 2016年</p> <p>⑧青木優子. 初心者のための漢方入門. 第37回水沢漢方懇話会. 2016年</p> <p>⑨青木優子. 漢方医学教育の実際と展望. 第22回日本東洋医学会岩手県部会学術集会. 2017年</p> <p>⑩青木優子、佐藤由紀、萬徳孝子、三浦一穂、木村祐輔. 放射線食道炎に対する桔梗湯の使用経 験. 第22回日本緩和医療学会学術大会. 2017年</p>